

後田翔平

テノール チャリティーディナーショー



後田 翔平 (Tenore)

愛媛県西条市出身。東京音楽大学卒業。同大学特別給付奨学生。第44回イタリア声楽コンクール第1位ミラノ大賞受賞。2017年度よんでん芸術文化奨励賞受賞。2018年度公益財団法人さわかみオペラ芸術振興財団イタリア留学助成金奨学生。2014年に渡伊。パルマ国立音楽院アッリーゴ・ボーイトに入学。2016年にモデナ市立歌劇場研修所修了。ミレッラ・フレニー女史のもと研鑽を積む。また同劇場よりディプロマを授与される。2017年1月にモデナ市立歌劇場において、歌劇「ジャンニ・スキッキ」のリヌッチョ役にてデビュー。2019年にはボローニャ市立歌劇場研修所にて研鑽を積む。ルッカのジーリオ歌劇場にて”LTL Opera Studio”に参加。2020年にはクロアチア国立歌劇場にて歌劇「ランメルモールのルチア」(ビエール・ルイージ・ピッツィ演出)にアルトゥーロ役にて出演。2021年にはピッチニ作曲、歌劇「デイドー」エネ役にてイタリア老舗レーベル Bongiovanni のCD録音に参加。同レーベルのCD録音には2022年にアルファード作曲、歌劇「マドンナ・インペリア」フィリッポ役、2023年にはマスカーニ作曲、歌劇「バリジーナ」ウーゴ役と主要な役で続けて参加している。2022年にはトッレ・デル・ラーゴの第68回フェスティバル・プッチーニにおいて歌劇「トスカ」のスポレッタ役にて出演。またヴィチェンツァの世界遺産オリンピコ劇場をはじめイタリア各地においてオペラやコンサートに出演する傍ら、モナコ公国モンテカルロにおけるロッシニ作曲「小荘厳ミサ」や、イタリア・ルッカのサン・マルティーノ大聖堂におけるプッチーニ作曲「グロリア・ミサ」のソリスト等もつとめる他、オーストリア、クロアチア、スイス、トルコ、モナコ等、様々な国においてソリストとして出演を重ねている。これまでにオペラでは「愛の妙薬」ネモリーノ、「リゴレット」マントヴァ公爵、「椿姫」アルフレード、「こうもり」アルフレード、「カルメン」ドン・ホセ等で出演。また小林研一郎指揮「第九」をはじめ日本フィルハーモニー、新日本フィルハーモニー、東京シティフィルハーモニー、神奈川フィルハーモニー、東京パシフィック・フィルハーモニア、大阪交響楽団、広島センチュリー交響楽団等の国内プロオーストラと第九や宗教曲のソリストとして多数共演。イタリア・パルマ在住。

Youtubeチャンネル”リリカ兄弟”：<https://youtube.com/@liricakyodai>

Twitter：https://twitter.com/Shohei_USHIRODA



江澤 隆行 (Pianoforte)

日本大学芸術学部首席卒業。東京藝術大学別科修了。笹川日仏財団の助成によりパリ市立シャトレ劇場に研修留学し、ホワイエでの演奏会シリーズ、日本大使館公邸での演奏会に出演した。その間にオーディションにより、フランス国立ライン歌劇場の研修生に日本人として初めて選ばれ、その後同所初の専任コレペティトゥアとして契約し、後進の指導に当たると共に、ライン歌劇場に於いては、フランス国立音響音楽研究所 IRCAM との共同制作による、シーズン初頭の世界初演オペラでは3年連続ソロピアニストを務め、またフランス、ミッテルベルクハイム音楽祭、ヴィルファヴァール音楽祭、イタリア、オリンピコ劇場、ヴェトナム、ダナン市等各地の演奏会にも出演した。現在は、各地に於いて多様な演奏活動をしている。八王子コミュニティオペラ音楽監督。名古屋音楽大学客員教授。東京藝術大学、日本大学芸術学部、神奈川県立相模原弥栄高校音楽科においても後進の指導にあたっている。